市政モニターに関すること 総務市民局みんなの声課 担当：森部、南谷 TEL：０９３－５８２－２５２７	アンケート内容に関すること 総務市民局生涯学習課 担当：柳井、野田 TEL：０９３－５８２－２３８５

令和８年１１月１３日

令和８年度　第２回市政モニターアンケート
「生涯学習に関する意識調査」
結果概要

本市では、「北九州市生涯学習ビジョン（北九州市生涯学習推進計画）」に基づき、生涯学習施策に関する市民のご意見やご要望をうかがい、その結果を本計画の推進に係る評価の基礎資料とするとともに、今後の施策の参考とするために、アンケート調査を実施しました。

Ⅰ　調査概要

調査対象者　市政モニター１５０人（うち、回答者１３６人　回収率９０．７％）
調査実施日　令和８年７月１７日～令和８年７月３０日
実施方法　　インターネット調査

Ⅱ　調査結果概要

（１）「生涯学習」という言葉の認知度と過去１年間の学習活動

○「生涯学習という言葉を知っている」（97.8％）は、令和７年度（97.9％）とほぼ同水準でした。一方、「言葉も意味も知っている」（66.9％）は令和７年度（70.5％）を下回りました。

○過去１年間に「学習活動をした」割合（37.5％）は、令和７年度の38.9％から1.4ポイント低下しました。

○学習活動をした人の学習活動に対する満足度について、「おおいに満足」と「満足」の合計は86.3％で、約９割が学習活動に満足を感じています。

○学習活動による生活の充実感（幸福度）の変化について、「非常に高まった」と「高まった」の合計は86.3％で、約９割が学習活動により生活に充実感を感じています。

（２）生涯学習に関する情報について

○生涯学習に関する情報を「十分得られている」と「ある程度得られている」の合計（31.7％）は、令和７年度（37.9％）に引き続き半数を下回っています。

○生涯学習について欲しい情報は「講座、講演会、イベントなどの案内」（49.3％）と最も多く、具体的な学習機会に関する情報へのニーズが高くなっています。

（３）学習活動の理由、内容、場所、方法について

〇学習活動を行った理由は「教養を高めるため」（52.9%）が最も多くなっています。

〇学習内容は「職業上必要な知識・技能」（41.2%）が最も多く、仕事に関する学びへの関心がみられます。

〇学習場所は「自宅」（45.1%）、次いで「市民センター」（25.5%）となっています。

〇学習方法は「オンライン講座・動画視聴などインターネットを活用した学習」（45.1%）が最も多く、次いで「公的機関が開設する講座・教室」（41.2%）となっています。

（４）学習成果の活用について

〇過去１年間に学習活動をした人のうち、学習成果を「すでに活かしている」「ぜひ活かしたい」「機会があれば活かしたい」と回答した割合は 84.3%で、令和７年度の 81.0%を上回りました。昨年度から引き続き約８割が、学習成果を地域活動やボランティアなどに活かすことに肯定的です。

〇一方、活動などに活かすにあたって困っている点としては、「活かすことができるまでの段階に到達していない」（57.1%）、「身近で活かせる活動を見つけられない、活動場所がない」（25.7%）となっています。学習段階に応じて学びを継続・深める機会を充実するとともに、身近な活動情報の提供や、学んだ人と地域活動をつなぐ仕組みなどが必要と考えられます。

（５）学習機会へのアクセスについて

〇学習活動をしていない理由は「時間がとれない（仕事や家事等のため）」（56.5%）が最も多く、「学習活動を始めるきっかけがない」（41.2%）が続いています。

〇オンライン学習については、「時間や場所を選ばず参加できる」（27.9%）、「自分の都合に合わせて参加しやすい」（25.7%）など、時間・場所の制約を軽減する効果への期待がみられます。

（６）今後の生涯学習事業について

〇学んだ成果を活動に活かすために必要なこととしては、「学んだ知識、経験、スキル等を活かすことができる機会・場所」（48.5%）が最も多くなっています。この結果から、学習機会の提供に加え、学んだ成果を実践につなげる機会・場所や、学び直し、地域とのマッチングなど、「学ぶ」から「活かす」までを支える環境づくりが求められていることがうかがえます。

〇北九州市が生涯学習の分野で、今後重点的に取り組むべきこととしては「子どもから高齢者までの多世代が交流する場所や機会の充実」（37.5%）が最も多く、「オンラインで参加できる生涯学習の機会の充実」（32.4%）、「生きがいづくりに繋がる機会の充実」（31.6%）が続いています。人とつながる機会と、時間や場所にとらわれず参加できる機会の双方が求められていることがうかがえます。

（７）市民センターへの期待について（自由記述）

〇市民センターへの自由記述には、夜間・休日・オンラインなど参加しやすい環境、情報発信の強化、幅広い年代に対応した学習内容、多世代交流、初心者が参加しやすい雰囲気づくりなどを求める意見がみられました。

〇「高齢者が利用する施設」というイメージや、初めて参加する際の敷居の高さを指摘する意見がある一方、「子どもから高齢者まで誰もが気軽に集い、学習・交流・地域活動につながる拠点」を期待する意見もみられました。